

様式1-3(統一栽培暦様式)

もっと安心農産物 人参(秋冬どり)栽培暦(令和5年度)

JAちばみどり 海上野菜組合産直部

1. 土づくり

・完熟堆肥、または緑肥を施用し、土づくりを行う。土壌診断を実施し、適正施肥を行う。

2. 施肥 ☆施肥診断にもとづく施肥量の遵守 化学肥料窒素成分使用量7.5kg/10a以下

	肥料名	施肥量
基肥	①スーパー人参フリケット(6-8-8 有機態窒素 3.6)	200kg/10a以下
	②エコレット866(8-6-6 有機態窒素4.1)	180kg/10a以下
	③ちばみどり有機888(8-8-8 有機態窒素 1.2)	110kg/10a以下
※必要に応じて施用	苦土石灰(アルカリ分55%)	80kg/10a以下
	苦土重焼燐(0-35-0)	80kg/10a以下
	マルチサポート1号(総合微量元素)	60kg/10a以下
※土壌分析により施肥量を加減する。		

3. 防除 化学合成農薬 8成分回数まで

(Zボルドー・スピノース顆粒水和剤・ホリオキシンAL水和剤・センター顆粒水和剤・ジーファイン水和剤は化学合成農薬に含め)

月	管理作業	病害虫の発生推移	薬剤名	希釈 倍数・処理量	回数	対象病害虫	備考 (耕種的防除の実施)
7月 月上旬	ロータリー	(センチュウ・ネキリムシ)	①ネマトリンEース 粒剤	播種前 15~20kg/10a	1回	ネコフセンチュウ	ネコフセンチュウの多い圃場は作付けを避ける
中旬	施肥						
下旬							
8月 月上旬	は種	(センチュウ・ネキリムシ)	②フォース粒剤	播種時 4kg/10a 作条土壌混和	1回	ネキリムシ類	苗床での立枯病が本圃でのすそ枯病の発生源となるので灌水等に注意する
中旬				播種前 4~12kg/10a 全面土壌混和			
下旬							
9月 月上旬	間引き	(鱗翅目害虫 黒葉枯病)	③ベルコート 水和剤	1000倍 (収穫14日前迄)	5回	菌核病 黒葉枯病	黒葉枯病防除剤発生が見られた場合: カスミンホルター 1000倍(収穫14日前・2回) ストローフロアブル 2000~3000倍(収穫7日前・3回)
				500~1000倍 (収穫14日前迄)			
中旬	中耕		④アフアーム 乳剤	2000倍 (収穫前日迄)	3回	ハモグリバエ類	
下旬			⑤ロブラール 水和剤	1000~1500倍 (収穫14日前迄)	4回	黒葉枯病 斑点病	
10月 月上旬			⑥スタークル 顆粒水溶剤	2000倍 (収穫7日前迄)	2回	アブラムシ類	※化学合成農薬に含まれない農薬
中旬	収穫						Zボルドー 500倍 センター顆粒水和剤 1000倍(収穫前日・-)
下旬							ジーファイン水和剤 うどんこ病 750~1000倍 白さび病1000倍 (収穫前日・-)
11月							ホリオキシンAL水和剤 500倍(収穫7日前・5回)
12月							スピノース顆粒水和剤
1月							5000倍(収穫3日前・-)
2月							
3月							

☆みんなで守ろう生産基準